

やまが 市議会だより

第28号
11月臨時会
12月定例会

令和3年2月1日
発行／山鹿市議会



▲新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して整備した「発熱トリアージ外来設備」半円形のテントは陰圧が可能（左が診察室で、右が検体採取用テント）

※ 事業主体：山鹿市、鹿本医師会、市民医療センター 実施主体：鹿本医師会、市民医療センター

【発熱トリアージ外来について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、かかりつけの医療機関を受診した発熱患者と一般患者との接触機会を減らすため、鹿本医師会会員医療機関からの紹介により予約制で診療・検査を実施する。診察にあたるのは鹿本医師会会員医師と看護師。

《もくじ》

- ・ 11月臨時会審議結果・賛否表・主な議案 ……2
- ・ 常任委員会審査と報告 ……3～4
- ・ 市政のここが聴きたい ……5～9
- ・ 12月定例会審議結果・賛否表・主な議案・討論 ……10～11
- ・ 議会の主な動き他 ……12

令和2年(第5回)11月臨時会における審議結果および賛否一覧

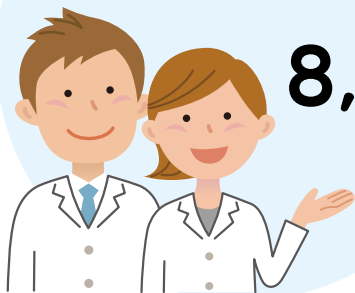
○は賛成 ●は反対 (議長は採決には加わりません)

議案等番号	議員名 (議席順)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			立山大二朗	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	服部香代	富田弘海	富丸洋一郎	北原昭三	芹川正美	藤原豊	平井邦廣	吉本政幸	池田誠一	堀茂幸	永田紘二	横手啓介	寺崎勇児
議案第70号	令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第6号)	可決	全会一致																	
議案第71号	令和2年度山鹿市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	全会一致																	

主な議案

11月臨時会では、国の第2次補正予算において追加された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、『経済政策』及び『感染防止対策』をより充実するために、令和2年度補正予算に係る予算案件2件の提出があり、審査を経て、いずれも可決しました。

医療・福祉



8,979万円

教育・子育て



8,960万円

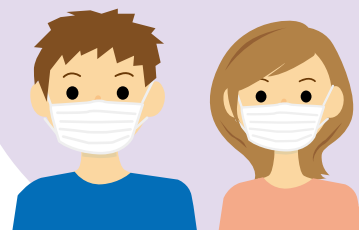
経済と暮らし

3億7,740万円



感染拡大防止

7,431万円



常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

◎委員長
○副委員長

建設経済常任委員会

12/4 開催

◎富田 弘海 ○北原 昭三
横手 啓介 池田 誠一
藤原 豊 立山大二郎

◆付託案件
議案10件：可決

◆主な審査内容
山鹿市営住宅条例の一部を改正する条例

問 山鹿ビルの状況と今後の対応は

答 入居者は全員が退去され、市営山鹿ビル住宅を廃止する。建物解体に向けて区分所有者の全員の合意形成を図っている。今後のスケジュール等は建物の危険性を重視した動きを、専門家の意見も含めて練っていく。

山鹿市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

問 農業集落排水事業が公共下水道事業に編入されることだが、具体的な場所は

答 三玉・八幡処理区、川北、蒲生、梶屋の処理区を年次計画で接続する予定。目標としては令和11年度までに接続を完了する計画。

問 市民にとってのメリットは

答 下水道事業及び農業集落排水事業を持続可能な事業として構築することが目標で、市民負担の変更等はない。施設等の数を減らして維持管理費用の削減を図る。

11月臨時会審議結果・賛否一覧・主な議案

令和2年度山鹿市一般会計補正予算（第7号）中所管

問 農産物生産振興事業の内容は

答 茶葉に火山灰が降り注いだ部分の洗浄機購入を支援するもの。

問 観光費、オリンピック聖火リレーの補正予算の内容は

答 聖火リレーの本身は以前の計画と変わらないが、新型コロナウイルス感染症対策を含め、再度関係機関等と対策内容について調査する必要がある。

公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市一本松農村公園）

問 指定期間を5年間とする理由は

答 原則3年となっているが、物産館など施設の性質によっては設備投資等があるため、事業展開を鑑みて3年または5年の指定期間を設けている。

公の施設の指定管理者の指定について（山鹿バスセンター（待合所棟））

問 昔の公園があった頃から温泉湧出の部分があるが、管理は待合所棟か、物販棟か

答 待合所棟側の指定管理者で管理している。

現地調査

平山地区市道城堂ノ原線災害復旧箇所

鹿央上広地区農地災害復旧箇所

令和2年7月3日から14日にかけての梅雨前線豪雨により、山腹が崩壊し田面に土砂が堆積したものを。

常任委員会審査と報告

市民福祉常任委員会

12/7 開催

◎堀 茂幸 ○吉本 政幸
永田 紘二 有働 辰喜
芋生よしや

◆付託案件
議案6件：可決

◆主な審査内容

山鹿市税特別措置条例の一部を改正する条例

山鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例

現地調査

①「発熱トリアージ外来」事業

発熱等で、新型コロナウイルスの感染が疑われる患者と一般患者との接触を避け、診療・検査を実施する施設として、11月16日から市民医療センター敷地内に設置された仮設陰圧テント「発熱トリアージ外来設備」を視察した。担当者からは、業務内容、診療体制、運営方法など説明を受けた。

②小規模多機能型居宅介護事業所「くるばい三玉」

「くるばい三玉」は、小規模多機能ホーム「いつでんくるばい」のサテライト（出張所）として開設されている。サテ

ライト施設のため利用者数は限られるが、介護職員の確保基準が緩和できている。現在、地域に根差した介護事業所として弁当配食などの生活支援はもとより、高齢者雇用の場としての取り組みが行われていた。

③移住定住相談窓口「山鹿暮らしサポート」

空き家の所有者や移住希望者からの幅広い相談に柔軟かつ迅速に対応するため旧来民郵便局（ゆーくんち）に設置された「山鹿暮らしサポート」を視察した。地域おこし協力隊と移住定住支援センターの職員が常駐し、相談者には専門性を生かす必要とされる的確な情報の提供が行われていた。



くるばい三玉

市政のことが聴きたい

12月定例会審議結果・賛否一覧・主な議案・討論

総務文教常任委員会

12/8
開催

◎寺崎 勇児 ○服部 香代
平井 邦廣 芹川 正美
富丸洋一郎 勢田 昭一
小川 榮二

◆付託案件

議案10件……可決
陳情1件……継続審査

◆主な審査内容

山鹿市財政状況の公表に関する一部を改正する条例

問

今まで「広報やまが」で公表されていたが、予算の公表もインターネットのみにするのか

答

年4回広報紙に掲載していたが、今回の改正でインターネットのみとなる。

問

他市の状況は

答

公表を行う方法を広報紙とする条例は、本市のみ。掲載版による公表が人吉市・水俣市、あとの11市はホームページによる公表となっている。

問

今、山鹿市でインターネットを閲覧できる人はどれだけか

答

スマートフォンによるインターネットの利用率は、全国で63・3%、熊本県で54・9%の統計があり、その他パソコンやタブレットによる利用を含めると高い利用率になると考える。

公の施設の指定管理者の指定について
(山鹿市カルチャースポーツセンター)

問

指定管理者の会計処理について、他の自治体で不適切な事例がある。監査方法は

答

監査は市職員が対応しており、適切に行っている。

問

指定期間が3年・5年とあるが、なぜか

答

山鹿市の指定管理方針の中で、指定の期間は「原則3年間」とするところがある。施設の性質や利用者等によって、5年とする場合もある。社会体育施設は、3年を基本としている。



広報広聴委員会

2年前までは、「広報委員会」・「タブレット準備委員会」・「議会報告会準備委員会」をその都度立ち上げ、各常任委員会から2人選出した6人で構成していました。ところが、3つの委員会はほとんど変わらないメンバー構成であったため、3委員会を合わせて「広報広聴委員会」を結成し、次のことを進めることができました。

- (1) 「議会だより」の内容充実を図り、(従来通り)年4回発行
- (2) 「タブレット端末」の事前研修を行い、令和2年9月定例会から使用開始
- (3) 「議会報告会」の企画・実施(ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)

また、今後の議会報告会の在り方についてのアンケート調査を実施。114人の方にご協力いただき、次年度からの開催に向けての貴重なご意見をいただきました。



市議会の様子を市民のみなさんにお知らせしたいという気持ちで、2年間取り組んでまいりました。

〈山鹿市議会広報広聴委員会〉

市政のここが聴きたい!



こちらの
QRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市
ホームページ → 市議会
一覧 → 定例会の
様子

の順にクリックしてください。



はっとり かよ
服部 香代 議員

山鹿市民医療センターについて

質問 医業損失は年々増加し令和元年度は3億4600万円で、令和2年度の一般会計からの繰入金は5億6千万円になっている。経営改革はどのように行われるのか

答弁 市民医療センター事務部長

医師の確保を第一にし、勤務環境改善等に努めている。令和5年には施設整備に係る償還額が減少し改善が図られる見込みである。

質問 鹿本医師会等との連携・協力体制についての考えは

答弁 病院事業管理者

日ごろから紹介・逆紹介及びかかりつけ医の支援など連携に努め、入院診療を主体とした地域医療の役割分担を図っている。今後も医師会活動には、できるだけ協力することは当然のことだと考えている。

質問 将来、無医地区となった地域には巡回診療や送迎などの必要が出てくるのではないかと。将来の地域医療に対する考えは

答弁 病院事業管理者

将来にわたって地域住民の医療を守るのは、医療政策としてもまた自治体病院の役割としても重要である。しかし医師、看護師の確保が最大要件であり、かつ当センターだけで解決できる問題ではなく、県市行政の政策として地域医療機関も含め十分協議する必要がある。

質問 病床稼働率が下がり続けるなら、ベッド数を大幅に減らし、全室差額ベッド代を取らない個室にするなど、規模縮小での改革が必要ではないか

答弁 病院事業管理者

病床の削減など機能の変更は、慎重な検討が必要と考える。削減によって、混合病棟となることにより看護ケアが不十分になる可能性があるなど問題がある。その時に応じた最適な医療体制を整えていく。

質問 事業管理者の経営理念と責務について

答弁 病院事業管理者

「地域住民の生命と健康への貢献」を軸に患者さま中心の信頼される良質な医療の提供を経営理念としている。

経営を安定させ継続可能な病院運営を行い、地域医療連携を図り、医療の質の向上・人材育成に努め信頼される病院にすることを責務と考える。

スポーツによる効果を波及させるための市の取り組みについて

- 質問** ①これまでのスポーツ振興（大会開催等）による成果をどのように捉えているか
②今後のスポーツ振興（大会等誘致）の展望は

答弁 教育部長

- ①競技団体や山鹿温泉観光協会等によりスポーツ大会の開催や誘致を行っている。山鹿市コンベンション宿泊助成の対象となった大会・合宿による宿泊者数は過去3年間で、7千人から1万4千人と倍増しており、こうした大会等の開催は、スポーツ振興のみならず、確実に山鹿市の経済振興に貢献している。
- また、昨年度のインターハイや女子ハンドボール世界選手権などにより本市にも大きな経済波及効果をもたらした。さらに、このような大きな大会の運営に多くの市民が携わったことは、大会運営のノウハウが蓄積され大きなレガシーとなり、何よりも、市民のスポーツに対する関心や興味が高まったと考えている。
- ②大会開催の基盤となるスポーツ施設の機能を維持・向上し、長寿命化を図るため、計画的に施設の改修を進めているところだが、今後も安全・安心な競技環境の維持に努めていく。

とみた ひろみ
富田 弘海 議員



また、来年度中に「山鹿市スポーツ推進計画」を策定し、この計画の中で、生涯スポーツの振興や競技力の向上はもとより、スポーツ大会等の開催による地域経済の振興についても方向性を取りまとめることとしている。

一方、熊本県においては、スポーツによる誘客を推進する官民組織「スポーツコミッション」を来年度に設立する準備を進めている。

山鹿市としても、こうした組織と連携し、山鹿ならではの温泉や歴史文化などの観光資源を生かし、競技団体や山鹿温泉観光協会等としっかり情報共有しながら、今後も学生を中心としたスポーツ大会や合宿の開催と誘致を積極的に支援していく。



新型コロナウイルス感染症対策

- 質問** 感染爆発を防ぐには「検査・保護・追跡」が重要である。市の検査体制は

答弁 福祉部長

1. かかりつけ医で検査
2. 県指定「診療・検査医療機関」
3. 県設置「発熱患者専用ダイヤル」から市内「受診案内センター」
4. 個別医療機関で検査ができない場合に市民医療センター敷地内の「発熱トリージ外来」で予約後、診察検査
5. 濃厚接触者は保健所で確認後検査

- 質問** ①新型コロナウイルス影響での困りごと相談体制をホームページのトップ画面にすべきでは
②経済的理由で医療機関を受診控えの方、治療中断者などを把握し悪化しないよう促せないか

答弁

- 福祉部長 ①わかりやすく改善する。
②民生委員などと協力して把握に努めたい。
- 市長 ②市民のいのちと暮らしを守ることを最優先に、最大の予防策をとる。

- 質問** 高齢者施設・福祉施設などで公費での定期的な検査はできないのか

答弁

- 福祉部長 感染拡大の状況によっては必要になると考えている。
- 市長 感染の状況を踏まえ、内部で検討を進める。

いもう
芋生 よしや 議員



庁舎利用身障者への配慮・相談窓口の工夫

- 質問** 広い庁舎内の移動が大変、配慮工夫ができないか

答弁 福祉部長

近席への案内、ワンストップサービスを心がけている。利便性を考慮してフロアのレイアウトをしているが、引き続き検討していく。

災害対策について

- 質問** 志々岐台地の陥没で不安な住民にへて、調査・対処を行うべきではないか

答弁 建設部長

担当課ごとで現場確認・対処を行ってきたが、自然災害の不安を抱えている住民にへて、改めて関連部署が住民の方々と一緒に現地の状況把握を行い、その後の状況に応じ、適宜判断する。



きたはら しゅうぞう
北原 昭三 議員

交通弱者対策としてのあいのりタクシーの利用地域拡大について

質問 令和2年度第1回山鹿市地域公共交通活性化協議会における協議内容は

答弁 市民部長

玉名線3系統については、下津原経由を廃止し、東郷経由と米野岳経由は便数を見直しての存続、三玉線については廃止することとなった。また、廃止に伴い発生する交通空白地域には、あいのりタクシーを導入することについて了承いただいたところである。

質問 バス停から500m以内の利用制限緩和の検討は

答弁 市民部長

あいのりタクシーに関しては、エリアごとに異なる2日、6日の運行日数の統一や500mの利用緩和などについて、熊本運輸支局と協議している。



質問 500m以内であっても80歳以上の方はあいのりタクシーの利用可能など移動支援策として早急に検討するのが、高齢者にやさしいまちづくりと思うが市の考えは

答弁 市民部長

80歳以上の方への対応については、関係部署においてスピーディに検討すべきと考える。

行政手続きにおける押印廃止と書面主義の廃止について

質問 廃止対象リストの洗い出しを積極的にすべきと考えるが市の見解は

答弁 総務部長

国の動向等も踏まえ、見直しが求められるもの並びに可能なものについては、押印や書面主義といった慣行を恒常的に見直し、各種行政手続きにおける簡素化に努める。

質問 行政手続きのオンライン化に関する山鹿市の取り組み状況と今後の計画は

答弁 総務部長

オンライン手続きに必要な技術的環境の整備や住民の利用環境の普及状況も踏まえ、より効果が高く、住民サービスの向上につながるものを見極めて、適宜導入を進める。



せいだ しゅういち
勢田 昭一 議員

「つなぐ視点」—山鹿市総合計画(まちづくり)について

質問 合併後16年のまちづくり(総合計画の検証)の現状

答弁 総務部長

合併後の施策推進にあつては、山鹿市総合計画を基調にまちづくり(各施策・事業)を進めてきた。具体例としては、社会インフラの整備(市庁舎、環境センター、市民医療センター)や経済振興(さくら湯再建、菊鹿ワイナリー、山鹿シルク)また、地域交通の充実(あいのりタクシーの導入)子育て支援(子ども医療費助成の拡充)、教育環境の充実(複式学級解消、タブレット導入)など様々な分野で住民サービスの向上に努めてきた。

一方では、行政改革大綱や財政構造改革大綱等を策定し効率的・効果的な行財政運営に取り組み、財政基

盤の強化を図った。

本年は、第2次山鹿市総合計画(10年)前期基本計画(5年)の最終年度。次の後期基本計画の策定に向けて、市民アンケートの実施のほかに、合併後16年間の軌跡を踏まえて、現在、数値的または満足度などを指標とし、検証・分析作業を進めている。

「創り出す視点」—スポーツ基本法による本市のスポーツ推進計画について

質問 ①策定の進捗状況
②令和3年度策定は可能か

答弁 教育部長

- ①本年度より策定に向けて着手した。策定にあたって、市民のスポーツ・運動に関する現状や関心度を把握するため、住民基本台帳から無作為抽出した16歳以上の1,000人に対し、スポーツを行う頻度、山鹿市のスポーツ振興や施設に関するアンケート調査を実施中。結果を1月末までに集計、分析を行い本年度末から計画策定委員会を複数回開き、関係団体等の意見をいただく計画である。
- ②令和3年度中に計画の策定を完了する。

令和4年度からの資源ごみの処理について

質問 リサイクルプラザの使用期限（令和3年度まで）後の資源ごみの処理は

答弁 市民部長

令和4年度からの本市単独処理に備え、中継施設を環境センター隣接地に整備する。ただし令和4年度はリサイクルプラザの施設を本市単独で倉庫として使用する計画。なお、市内業者への収集運搬委託体制や、市民の方の分別方法などが大きく変わることはないものと考えている。

子育てワンストップサービスの対応状況について

質問 現在の対応状況や今後の展開は

答弁 福祉部長

「子育てワンストップサービス」とは、マイナンバーカードにより子育てに関する行政手続きが行えるもの。本市ではこのサービスを利用して児童手当や保育園等の手続きに係る様式の一部、及び妊娠の届出に係る様式を入手することが可能。対面による聞き取りや原本提出が必要な手続きがあるため、全てが移行できるものではないと考えている。

バイオマスセンターの現状と今後

質問 ①廃止に向けた取り組みの現状と今後のスケジュールについて
②堆肥舎の活用をどのように考えているか

答弁 経済部長

- ①令和3年3月末に畜産糞尿受入終了のため、現在、個別処理移行に伴う施設・設備等の導入を計画しており実施中。令和3年度は、液肥タンクの散布業務と解体工事の実施設計を行い、その後、解体工事及び補助金返還業務を実施予定。
- ②令和3年4月から堆肥舎利用開始のため、現在、利用組合設立に向け協議調整中。利用者は、当該施設を活用している市内全域の畜産農家が対象。

有害鳥獣対策の充実

質問 令和元年9月定例会で、「より効果的な捕獲活動ができるような体制づくりに努めていく」とのことだったが、進捗状況は

答弁 経済部長

各地域の行政協力員会で、前年度の農作物被害状況、捕獲頭数の報告や狩猟免許の案内。餌付けストップ研修の際に被害防止対策の説明を行った。また、モデル地区を設定し、捕獲技能講習会、先進地視察研修を実施、有害鳥獣駆除全般の体制構築につながるよう進めている。

学校規模適正化事業

質問 八幡小・平小城小・三岳小の統合に向けた取り組み状況は

たてやま だいじろう

立山 大二郎 議員



地域と学校の連携・協働について

質問 ①コミュニティ・スクールの対応状況は
②「地域学校協働活動」の具体的な取り組みについて

答弁 ①首席教育審議員 ②教育部長

- ①学校運営協議会を設置した「コミュニティ・スクール」は現状で15校のうち8校の指定。残り7校は法的な要件や権限を緩和し開かれた学校づくりの仕組みを整えられる「熊本版コミュニティ・スクール」を導入済み。
- ②「地域学校協働活動」として本市では12館の地区公民館に公民館指導員兼務の推進員12名を配置。地域の祭りに子どもたちが企画段階から参画、地域の困りごとへのボランティア活動など、学校や地域の課題解決に向けた幅広い活動が展開されている。

ながた こうじ

永田 紘二 議員



答弁 教育部長

八幡小を統合予定地として事業を推進してきたが、土砂災害特別警戒区域の指定を受け、その対策等に期間を要し大幅な遅れを生じた。その間、平小城小・三岳小で複式学級編成が進んだことにより、各方面からこの2校を山鹿小に編入する計画として見直してはどうかという意見があった。様々な検証を行った結果、教育委員会としても、複式学級の早期解消が可能となる平小城小・三岳小を山鹿小へ編入する案が最も優位性のあるものと捉え、変更計画案を進める運びとなった。

質問 今後の方向性は

答弁 教育部長

変更計画案について保護者や地域の関係者のご理解をいただければ、統合準備委員会、学校規模適正化等協議会などに諮り、計画変更の手続きを行い、令和5年4月の編入を目標に事業を進めたい。また、変更計画案により現行のまま存続となる八幡小については、耐力度調査で建て替えと判断された体育館について整備を検討したい。



うどう たつき
有働 辰喜 議員

改正健康増進法について

質問 本市では対象施設のうち本庁舎は敷地内全面禁煙、その他の施設は検討して判断するとし、昨年7月1日より施行されたが「喫煙所設置要望」を趣旨として市議会に提出された陳情書2件が全会一致で採択、この結果と、その後の市の検討結果を併せての現状は

答弁 総務部長

市議会での陳情書採択を重く受け止めたうえで、法の趣旨「望まない受動喫煙防止」の観点から、公共施設利用者の目的や施設の性格など様々な観点から分析、検討し本庁舎、市民センター、学校や病院等は全面禁煙、一方、観光施設、物産館、文化・体育施設など対象167施設中、48施設に喫煙所を設置している。

質問 市たばこ税として本市では年間3億円以上の税収があるがその用途は何か、また、熊本県庁、県広域本部（地域振興局）や県下14市中11市は屋外喫煙所を設けているが、これらの自治体では「望まない受動喫煙」が守られていないとの認識か

答弁 総務部長

市たばこ税は、まちづくりをはじめ、福祉・医療・教育・農業振興や商業・観光振興等の施策に活用。他自治体における喫煙所設置は、各自治体の事情を踏まえて、熟慮のうえなされた判断と推察する。

土地改良区に対する対応について

質問 国の施策で、自主・自立した事業团的組織を目指して土地改良区が合併するが、取り巻く環境は大変厳しく、目指す組織が出来上がるまでは市の指導と援助をお願いしたい

答弁 経済部長

土地改良区が組織運営基盤の強化を図り、その目的を達成できる組織となるよう協議しながら連携して取り組んでいく。

ころう君と学ぶ！ 「議会用語の基礎知識」

せんぎょ

「選挙」って何だコロ～？

チヨマツ：今日は山鹿市の市長と議員を選ぶ選挙に行くよ！

ころう君：選挙って、何だコロ～？

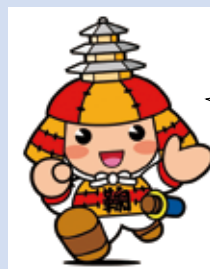
チヨマツ：ぼくたちが住んでいる山鹿市を快適で住みよいまちにするために選挙で市民の代表を選び、ぼくたち市民に代わって大切な仕事をしてもらうんだよ。その代表が、市長と市議会議員なんだ。

ころう君：市民みんなで話し合えばいいコロ～？

チヨマツ：市民全員が集まることは難しいんだ。だから、自分たちの代わりに、その意見を市政に反映してくれる代表を選ぶんだよ。それが「選挙」なんだ。

ころう君：ぼくも選挙に行くコロ～♪

チヨマツ：（ころう君は18歳になっているのかな？）



ころう君

おにぎり
パワーで、カ
ゼに負けない
コロ～♪

手あらいや
うがいも、
わすれずに！



チヨマツ

令和2年(第6回)12月定例会審議結果及び賛否一覧

○は賛成 ●は反対 (議長は採決には加わりません)

議案等番号	議員名 (議席順)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			立山大二朗	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児
議案第72号	山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第73号	山鹿市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第74号	山鹿市財政状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	山鹿市督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第76号	山鹿市税特別措置条例の一部を改正する等の条例	可決	全会一致																	
議案第77号	山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第78号	山鹿市営住宅条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第79号	山鹿市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第80号	山鹿市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第81号	山鹿市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第82号	令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第7号)	可決	全会一致																	
議案第83号	令和2年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	全会一致																	
議案第84号	令和2年度山鹿市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致																	
議案第85号	令和2年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	全会一致																	
議案第86号	令和2年度山鹿市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	全会一致																	
議案第87号	令和2年度山鹿市病院事業会計補正予算(第3号)	可決	全会一致																	
議案第88号	令和2年度山鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	全会一致																	
議案第89号	財産の譲渡について	可決	全会一致																	
議案第90号	財産の譲渡について	可決	全会一致																	
議案第91号	財産の取得について	可決	全会一致																	
議案第92号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市6次産業化・観光連携推進施設)	可決	全会一致																	
議案第93号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市一本松農村公園)	可決	全会一致																	
議案第94号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿バスセンター(待合所棟))	可決	全会一致																	
議案第95号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿バスセンター(物販棟))	可決	全会一致																	
議案第96号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市カルチャースポーツセンター)	可決	全会一致																	
議案第97号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市民プール)	可決	全会一致																	
議案第98号	人権擁護委員の推薦について	同意	全会一致																	
議案第99号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致																	
議案第100号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致																	
議案第101号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致																	
議案第102号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致																	

11月臨時会審議結果・
賛否一覧・主な議案

常任委員会審査と報告

市政のことが聴きたい

12月定例会審議結果・
賛否一覧・主な議案・討論

主な議案

◆議案第72号

山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

・市議会議員及び市長等の期末手当の支給割合を0・05月引き下げるもの

◆議案第73号

山鹿市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

・職員の期末手当の支給割合を0・05月引き下げるもの

◆議案第82号

令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第7号)

補正前 404億3267万6千円
補正額 △713万4千円
補正後の額 404億2554万2千円

・給与改定等 △1978万6千円
・農産物生産振興事業 908万7千円

◆議案第92号～97号

公の施設の指定管理者の指定について

◆議案第99号～112号

農業委員会委員の任命について

反対討論

議席番号3番 芋生よしや

議案第74号

市民が収めた税金がどのように使われているのか、執行状況はどうなのかを知らせる財政情報を、今回、全世帯配布の「市広報紙に掲載して公表する」から「インターネットを利用して閲覧に供する方法により行う」に変更するのは、ネット環境が全世帯をカバーする状況に達しておらず、市民の知る権利を阻害するものである。インターネット掲載とともに広報紙にも掲載する必要があると考え、この条例改正に反対する。

陳情第13号

「核兵器禁止条約」は批准国が50に達し、令和3年1月22日に条約発効確定となった。日本政府が参加・調印・批准をすることは唯一の戦争被爆国である被爆者の強い願いである。非核平和都市宣言を行っている山鹿市の議会として、国に意見書を上げるべきで、今回継続審査となれば改選を迎える議会として審議未了で廃案となりがねない。直ちに採択すべきだと考え、継続審査とすることに反対する。

議案等番号	議員名 (議席順)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			立山大二郎	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	服部香代	富田弘海	富丸洋一郎	北原昭三	芹川正美	藤原豊	平井邦廣	吉本政幸	池田誠一	堀茂幸	永田紘二	横手啓介	寺崎勇児
議案第103号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第104号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第105号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第106号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第107号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第108号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第109号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第110号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第111号	農業委員会委員の任命について	同意																		
議案第112号	農業委員会委員の任命について	同意																		
陳情第13号	「核兵器禁止条約」への早急な参加・批准を求める意見書提出の陳情(継続審査に対する賛否)	継続審査	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会の主な動き

10月

- 1日(木) 広報広聴委員会
- 9日(金) 広報広聴委員会
- 14日(水) 鹿北分署庁舎建設工事安全祈願祭
- 15日(木) 熊本県市議会議長会
- 16日(金) 国道3号植木バイパス(1工区)早期実現期成会要望活動
- 21日(水) 全員協議会
山鹿市議会スポーツ振興議員連盟総会
- 26日(月) 議会運営委員会

11月

- 2日(月) 11月臨時会
- 5日(木) 清浦奎吾伯墓前祭
- 17日(火) 全国議長会「国会対策委員会」
国道3号植木バイパス(1工区)早期実現期成会要望活動(～18日)
- 19日(木) 議会運営委員会
- 20日(金) 議会タブレット端末操作研修会
- 26日(木) 12月定例会開会・全員協議会
広報広聴委員会
- 29日(日) 鹿本地域植樹祭

12月

- 2日(水) 質疑・一般質問
- 3日(木) 質疑・一般質問
- 4日(金) 建設経済常任委員会
- 7日(月) 市民福祉常任委員会
- 8日(火) 総務文教常任委員会
- 11日(金) 議会運営委員会・本会議・全員協議会
- 14日(月) 議会運営委員会
- 15日(火) 12月定例会閉会・全員協議会・議会運営委員会・広報広聴委員会
- 16日(水) 議会運営委員会・全員協議会

【人事案件】

※敬称略

〈人権擁護委員〉

市長から提出された「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿北町芋生 井上 俊也

〈農業委員会委員〉

市長から提出された「農業委員会委員の任命」については、次のとおり同意しました。

山鹿市宗方	森 喜代輝
山鹿市鹿北町芋生	稲葉 和弘
山鹿市鹿北町岩野	廣松 久喜
山鹿市菊鹿町上永野	多久 正光
山鹿市鍋田	坂本 照子
山鹿市方保田	長曾我部徹
山鹿市鹿央町合里	志方 精之
山鹿市菊鹿町米原	米岡 一利
山鹿市鹿本町中川	守川 千穂
山鹿市石	徳丸誠次郎
山鹿市鹿本町中川	隈部 誠一
山鹿市平山	田中 春雄
山鹿市鹿央町広	廣田 幸徳
山鹿市古閑	光永 太

編集後記

第4期山鹿市議会も、いよいよ任期満了を迎えようとしています。本紙特集にもありましたように、2年間は広報委員会として、残り2年間は広報広聴委員会として活動してまいりました。

ドイツの政治学者であるマックス・ヴェーバーは著書「職業としての政治」で、政治家にとって必要な資質を「情熱」「責任感」「判断力」と定義しました。

私たちが広報広聴委員会は、市の発展に向けて情熱を傾け、情報公

開への責任感を持ち、様々な判断・決断の上で広報広聴の職務に取り組みました。それらは市民の皆様が開かれた議会となるため、また議会機能の向上のための挑戦でした。そして政務活動費の公開、タブレット端末の導入、そして議会だよりの紙面改革などを実行してまいりました。

これらの改革が市民の皆様にご覧いただけるものであれば幸いです。改めて議会だよりのご拝読に感謝申し上げます。

広報広聴副委員長

立山 大二朗

正しい理解と思いやりの心で
差別・誹謗中傷は絶対しません



かんぜん よぼう かんよう
感染予防に努めながら、正しい知識を涵養し
感染者にも寛容な誹謗中傷のない地域をめざしましょう!